

# 学校だより 浅海



2021  
7

松山市立浅海小学校  
2021.7.7



校長 秋山 徹也

「新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのまん延防止等重点措置は解除され……」とは、先月の冒頭のご挨拶ですが、6月22日から愛媛県が「感染警戒期」に移行されました。皆様方のご協力により、現時点において本当にいい方向に向かっています。これも日頃からの皆様方のご理解とご協力の賜物です。今後ともよろしくお願いいたします。

また、先日は今年度初めての参観授業や、引き渡し訓練にもご参加くださり、誠にありがとうございました。いかがだったでしょうか。ご意見等ありましたら、いつでも学校（学級担任・養護教諭・教頭・校長等誰でも。☎995-0343）まで、ご連絡ください。

さて、標題の「子どもの本音」についてですが、皆様方はある程度知っておられますか。と、この質問をされること自体に抵抗を感じられる方もいらっしゃるかも知れませんが、また、不必要なことなのかもしれませんが、やはり一つの大切な命を預かり養育する立場におられる限り、少なからず気にされているのではないのでしょうか。

私は、学級担任の頃から、自学級の子どもたちに対してだけでなく、親として我が子のことも「きちんと」知っておきたいという思いで、また、半ば把握できている気でおりました。その方法として、クラスの子どもたちに対しては月に1回の教育相談のときに、「何か困っていることはないですか？何でも話しなさいよ！」というスタンスを基本とし、我が子に対しても、自分に時間ができたときに、「何かつらいことはないか？何かあったら父さんに言いなさいよ！」という調子でした。そんなとき、ある人物に「そんな方法では、子どもは本音を言わないし、言えない。子どもは、たわいない話をした最後の最後に、ぼろっと本音を言うもの。子どものタイミングを待ってやらないと、君（私）のタイミングで声をかけても話すわけがない。」と言われたのです。それからというもの、私は学級の子たちといっしょに遊ぶことと、声をかけられたときに「ちょっと待ってよ！」は極力言わないようにすることに心掛け、我が子とも、疲れていてもできる限り「くだらない話」をするように心掛けました。とはいえ、特に我が子についてはなかなか思うに任せなかったのですが……。

「令和2年 児童生徒の自殺者数に関する基礎資料集」（文部科学省）によると、昨年自殺した小中高校生は前年から140人増（H28以降は、6～26人で推移）の479人（うち小学生14人）とのことで、コロナ禍が影響しているとの考えもあるようです。

「うちの（学校の）子に限って……。」と思わず、日頃のたわいない会話から大切にし、子どもも大人も生きやすい毎日にしていきたいと、今も思っています。

## プール清掃を行いました！

4～6年生が全校のためにプール清掃を行いました。2年ぶりの清掃でしたが、見違えるほどきれいになりました。また、たくさんの保護者の方や地域消防団の方々にもご協力いただきました。本当にありがとうございました。



## 浅海オレンジタイム(AOT)の活動



生活科と総合的な学習の時間に、浅海オレンジタイム(AOT)「海と友達になろう」の活動をしました。今年度も「海と友達になろう」を合言葉に各自がテーマを決め、一人一人の課題に沿って、グループごとに協力しながら、活動を進めました。様々な活動を通して、浅海の海からの恩恵や自然のすばらしさに改めて気付きました。